

## イチゴの健苗確保に向け、JAほこたの生産者ほ場を巡回指導

JAほこたのイチゴは毎年販売額を伸ばし、昨季に最高額を更新した勢いのある産地です。

経営・普及部門は、イチゴ生産者の皆さんが育苗期間中にきちんとした管理を励行し、健苗を確保できるよう、8月19日、20日にマスク着用など新型コロナウイルス感染症防止対策を立てて担当者など限られたメンバーで生産者23名のほ場を巡回しました。

生産者からは「本年は8月中旬に長雨となり、苗のポットの乾き具合を見ながらかん水量を控えめに施用した」、「施肥などに気を使った」、「徒長抑制に苦労した」などの発言がありました。

こうした取組みもあり、現状では心配していた炭そ病の発生は少なく、苗も太い良い状態となっています。

早い作型ではこれから花芽の分化が始まります。これからも銚田普及センターは、花芽検鏡による適切な定植時期の指導など、イチゴ農家さんの所得向上に向け支援を続けていきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）